

引用文献一覧

引用文献

第1章

- 秋元律郎・浦野正樹 1982 防災体制と組織 安倍北夫・秋元律郎(編) 都市災害の科学 有斐閣
井上和子・田中國夫・大前衛・田淵創・岩淵千明・広沢俊宗 1988 神戸市民の研究〔5〕－市民意識(4)－ 日本心理学会第52回大会発表論文集, 259.
- まちづくり計画研究所 1995 阪神淡路大震災避難所・ボランティア本部の運営システム及びボランティア活動に関する調査研究－平成7年兵庫県南部地震大都市災害緊急実態調査－ (株)まちづくり計画研究所発行
- 毎日新聞 1995 「疲労の色濃く 募る不安 スクランブル 避難所24時間」 1月21日付毎日新聞大阪本社版夕刊
- 松井豊・秋山学・浦光博・清水裕・竹村和久・西川正之・水田恵三・宮戸美樹 1995 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(3)－リーダーの課題と提言－ 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 252-255.
- 水田恵三・秋山学・浦光博・清水裕・竹村和久・西川正之・松井豊・宮戸美樹 1995 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(1)－問題の設定と調査の概要－ 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 244-247.
- 水田恵三・秋山学・浦光博・西道実・清水裕・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(7)－避難所閉鎖における問題を中心として－ 日本グループ・ダイナミクス学会第44回大会発表論文集, 56-57.
- Quarantelli, E. L., Dynes, R. R., and Hass, J. E. 1966 Organizational Functioning in Disaster: A Preliminary Report, The Disaster Research Center, The Ohio State University, 12-16.
- 西道実・秋山学・浦光博・清水裕・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(5)－避難所運営における連携組織の移行について－ 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 318-319.
- 清水裕・秋山学・浦光博・竹村和久・西川正之・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1995 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(2)－数量化Ⅲ類による関連要因の整理－ 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 248-251.
- 清水裕・秋山学・浦光博・西道実・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(4)－避難所縮小に伴う避難所運営の変化の検討－ 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 316-317.
- 清水裕・水田恵三・秋山学・浦光博・竹村和久・西川正之・松井豊・宮戸美樹 1997 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究 社会心理学研究, 13(1), 1-12.
- 田淵創・田中國夫・井上和子・大前衛・岩淵千明・広沢俊宗 1988 神戸市民の研究〔2〕－市民意識(1)－ 日本心理学会第52回大会発表論文集, 256.
- 田中優・秋山学・浦光博・西道実・清水裕・竹村和久・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(6)－避難所を運営したリーダーの特徴について－ 日本グループ・ダイナミクス学会第44回大会発表論文集, 54-55.
- 都市防災美化協会 1992 大地震の都市住民生活に対する影響に関する調査研究 (財)都市防災美化協会発行
- 読売新聞 1995 「避難所リーダー 物資の配分皆に平等に」 2月12日付読売新聞大阪本社版朝刊

第2章

- 麻生克郎 1996 阪神・淡路大震災の精神保健への影響 科学, 66, 67-69.
- 渥美公秀・杉万俊夫・森 永壽・ハッ塚一郎 1995 阪神大震災におけるボランティア組織の参与観察研究－西宮ボランティアネットワークと阪神大震災地元NGO救援連絡会議の事例－ 実験社会心理学研究, 35, 218-231.
- 馬場昌子 1997 仮設住宅での生活(その2)－阪神・淡路大震災における支援ネットワーク活動を通じた住居改善の試み－ 繊維製品消費科学, 38(4), 205-211.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(4)被災者としての救援者 名城大学教職課程部紀要, 29, 101-125.
- 榎本博明 1996 地震災害心理学の展望(2)被災者の心理的ストレスとその対処 名城大学人間科学研究, 7, 27-62.

- 五孝隆実 1996 被災後の暮らし 概要 朝日新聞社(編) 阪神・淡路大震災誌1995年兵庫県南部地震 第4部第1章 Pp.475-477. 朝日新聞社
- 百々尚美・大野太郎・山田富美雄・服部祥子 1997 震災後の子どものストレスに及ぼす震度の影響—バウムテストにおける空間利用を指標として— 日本生理人類学会誌, 2(3), 39-42.
- 藤森和美・藤森立男 1995 北海道南西沖地震の被災者のメンタルヘルス 保健の科学37(10), 689-695.
- 福田 明・横田謙治郎・松野敏行・正化 孝・松尾 正・田代信雄 1996 癒しの人間的連鎖について—神戸大学付属病院における「外部的支援者」と「内部的支援者」との交流の経験より— 精神科治療学, 11, 219-225.
- 福祉・医療・建築の連携による住居改善研究会日本建築学会近畿支部住宅部会 1995 仮設住宅の改善・工夫—緊急調査報告と提言— 朝日新聞厚生文化事業団
- 外国人地震情報センター 1996 阪神大震災と外国人—「多文化共生社会」の現状と可能性— 明石書店
- 阪神大震災地元NGO救援連絡会議「震災・活動記録室」 1995 中間報告「阪神大震災ボランティア実態調査」 阪神大震災地元NGO救援連絡会議「震災・活動記録室」
- 服部祥子・山田富美雄・佐伯恵子・大谷 昭・山中久美子・上野昌江・曾根美和・大西久男・島井哲志・大野太郎・百々尚美・竹中晃二・渡辺 純・野田哲朗 1995 阪神大震災による子どもの心的外傷後ストレス障害の実態調査 安田生命社会事業団研究助成論文集, 31(2), 18-27.
- 初谷 勇 1996 冷静な眼と温かい心—専門家ボランティア— 本間正明・出口正之(編著) ボランティア革命 東洋経済新報社 Pp.57-66.
- 林春男 1996 心的ダメージのメカニズムとその対応 こころの科学, 65, 27-33.
- 広瀬弘忠 1996 災害に出合うとき(朝日選書557) 朝日新聞社
- 本多 修 1996 兵庫県臨床心理士会こころの相談活動経過資料 兵庫県臨床心理士会(編) 災害とこころの癒し ナカニシヤ出版 Pp.202-208.
- 本間正明・出口正之 1996 ボランティア革命:大地震での経験を市民活動へ 東洋経済新報社
- 兵庫県 1996 阪神・淡路大震災—兵庫県1年の記録 兵庫県知事公室消防防災課
- 1・17神戸の教訓を伝える会 1996 阪神・淡路大震災被災地“神戸”の記録—安全な社会づくりに向けた市民からのメッセージ— ぎょうせい
- 兵庫県住まい復興推進課 1996 応急仮設住宅入居者調査結果速報 同所発行
- 伊藤崇達 1995 震災ボランティアにおける効力感 神戸大学発達科学部心理学紀要, 5, 1-16.
- 岩崎信彦 1996 避難所・仮設住宅の生活 朝日新聞社(編) 阪神・淡路大震災誌1995年 兵庫県南部地震 朝日新聞社
- 岩崎信彦・藤井勝・小林和美 1995 避難所のしくみと問題点 神戸大学震災研究会(編) 大震災100日の軌跡 Pp.122-134. 神戸新聞総合出版センター
- 城 仁士 1995 阪神大震災における災害ストレスの実態調査 平成七年度ひょうご科学技術創造協会「阪神・淡路大震災に関連する緊急調査研究助成」(交付番号7E03) 研究実績報告書
- 城 仁士 1997 淡路地区の災害ストレスに関する実態調査 神戸大学 特定研究「兵庫県南部地震に関する総合研究」平成8年度報告書 [3]大都市直下型地震に関する社会経済学的研究, 215-222.
- 城 仁士・小花和尚子 1995 阪神大震災による災害ストレスの諸相 実験社会心理学研究, 35, 232-242.
- 城 仁士・杉万俊夫・渥美公秀・小花和尚子 1996 心理学者がみた阪神大震災 ナカニシヤ出版
- 甲斐俊作 1996 被災者の意識調査 朝日新聞社(編) 阪神・淡路大震災誌1995年兵庫県南部地震 朝日新聞社 Pp.533-536.
- 神代尚芳 1996 救援者のバーンアウト症候群 河野博臣(編) こころの科学65 大震災とこころのケア 日本評論社 Pp.63-67.
- 金谷信子 1996 イニシアティブはボランティアの手に—被災地のボランティア— 本間正明・出口正之(編著) ボランティア革命 東洋経済新報社 Pp.19-42.
- 川島啓二 1996 震災時における学校と避難所の管理運営—神戸市中心部についての調査報告— 芦屋大学論叢, 24, 41-52.
- 岸本幸臣・瀬部 明 1996 阪神大震災と住宅復興(I)—避難所生活者の実態と閉鎖の問題点— 大阪教育大学紀要第II部門, 44, 127-136.
- 岸本幸臣 1997 仮設住宅での生活(その1)—住宅問題としての仮設住宅— 繊維製品消費科学, 38(4), 200-204.
- 北村裕之・宮野道雄・土井 正 1997 阪神・淡路大震災による避難生活における諸問題:その1. 避難所および待機所 日本生理人類学会誌, 2(1), 15-26.
- 倉岡和彦 1995 地震発生!そのとき市民は<阪神・淡路大震災における市民行動調査の結果> 雪(神戸市消防局), 47(5), 24-31.

- 日下菜穂子・中村義行・山田典子・乾原 正 1997 災害後の心理的变化と対処方法—阪神・淡路大震災6か月後の調査— 教育心理学研究, 45, 51-61.
- 神戸市 1996 阪神・淡路大震災—神戸市の記録1995年 Pp.212-215,222-227,316. 同所発行
- 神戸市教育委員会 1995 阪神・淡路大震災神戸市立学校震災実態調査報告書 同所発行
- 神戸市教育委員会 1996 神戸の教育は死なず 阪神・淡路大震災に学ぶ学校危機管理 Pp.27-31. 小学館
- 神戸市教育委員会 1996 阪神・淡路大震災—神戸市立学校震災実態調査報告書
- 神戸市民生局 1996 平成七年 兵庫県南部地震 神戸市災害対策本部民生部の記録 Pp.17. 同所発行
- 蔵下智子・松原達哉・長須正明 1996 阪神大震災救援ボランティア活動参加者の実態と意識の変(3) ボランティア参加者の意識の変化 日本カウンセリング学会第29回大会発表論文集, 230-231.
- 草地賢一 1995a 阪神大震災とボランティア マスコミ情報センター(編) 災害ボランティアとNPO—アメリカ最前線 朝日新聞社 Pp.197-204.
- 草地賢一 1995b 市民とボランティア 酒井道雄(編) 神戸発阪神大震災以後 岩波書店 Pp.165-188.
- 牧 紀男・小林正美 1996 避難所の生活実態と管理運営に関する研究 藤原悌三(研究代表) 平成7年兵庫県南部地震の被害調査に基づいた実証的分析による被害の検証(平成7年度文部省科学研究費(総合研究A)研究成果報告書(課題番号0730005), 5-39-5-43.
- 松田智子 1996 災害ストレスとその要因—阪神・淡路大震災の調査から— 長寿社会研究所・家庭問題研究所研究年報, 1, 45-55.
- 松浦 均・杉浦淳吉 1995 名古屋からボランティアに行った人々(1) 日本心理学会第60回大会発表論文集, 126.
- 松浦 均・杉浦淳吉 1996 名古屋からボランティアに行った人々(2)—ボランティア活動と援助コスト— 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 360-361.
- 南森隆司 1997 避難所での食生活の実態 Pp.51-58. 神戸大学震災研究会(編) 苦闘の被災生活 神戸新聞総合出版センター
- 宮野道雄 1996 避難所・応急仮設住宅における生活上の諸問題 藤原悌三(研究代表) 平成7年兵庫県南部地震の被害調査に基づいた実証的分析による被害の検証(平成7年度文部省科学研究費(総合研究A)研究成果報告書(課題番号0730005), 5-44-5-51.
- 箕口雅博・加賀美常美代 1995 阪神大震災における被災外国人学生の支援活動に関する研究—予備的報告— 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 178-179.
- 水田恵三・秋山学・浦光博・西道実・清水裕・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(7)—避難所閉鎖における問題を中心として— 日本グループ・ダイナミックス学会第44回大会発表論文集, 56-57.
- 宗 正誼 1997 阪神・淡路大震災に見るボランティアの意識 武庫川女子大学文学部人間関係学科 阪神淡路大震災の復興に関する人間関係的研究論集(Ⅱ) 社会教育学的アプローチ, 16-28.
- Muss, D. 1991 The trauma trap. Murray Pollinger (ディビッド・マス(著) 村山寿美子(訳) 1996 ト라우マ:「心の後遺症」を治す 講談社)
- 長瀬荘一・太田垣紀子 1996 非常災害時における学校運営上の諸課題と対策—阪神・淡路大震災への対応で求められた学校管理職の役割— 神戸大学発達科学部研究紀要, 3, 485-499.
- 長須正明・蔵下智子・松原達哉 1996 阪神大震災救援ボランティア活動参加者の実態と意識の変化(2) ボランティア活動参加者の実態と意識 日本カウンセリング学会第29回大会発表論文集, 228-229.
- 中島豊爾・来住由樹 1996 須磨精神科救護所の活動 朝日新聞社(編) 阪神・淡路大震災誌 朝日新聞社 Pp.511-516.
- 中辻直行 1995 ながた支援ネットワークができるまで—地域の「カナリア」の声は聞こえるか— ながた支援ネットワーク(編) ボランティアとよばれた198人:誰が神戸に行ったのか 中央法規出版 Pp.11-24.
- 西宮ボランティアネットワーク 1995 ボランティアはいかに活動したか NHK出版
- 野口啓示・坪倉裕子・谷口泰史・立木茂雄 1997 震災ストレスとエコロジカルモデル1—構造方程式モデルによる震災ストレスとコーピングの検討— 関西学院大学社会学部紀要, 76, 101-115.
- 大森文太郎 1995 精神科医療救援チームおかもやまの活動について 精神医学, 37, 707-713.
- ネット:神戸からの提言 NECクリエイティブ Pp.156-187.
- 小笠原淳子・奥田恵美・金子美由希・加門洋子・木村幸代・小林久美・山上有紀・渡部成美 1996 阪神・淡路大震災における遠隔地仮設住宅の研究 姫路短期大学生生活環境学科研究報告12,
- 奥田和子 1996 震災下の「食」 神戸からの提言 NHK出版
- 奥田豊子・平井和子・増田俊哉・山口英昌・續田康治 1995 阪神・淡路大震災避難所における被災者の健康に関する実態調査 大阪市立大学生生活科学部紀要, 43, 19-23.
- 大河原徳三 1996 震災と区役所活動の実態 都市政策, 82, 14-27. (財)神戸都市問題研究所 勁草書房発行

- 大月一弘 1996 災害を考慮した都市情報通信システムの構築 田中克巳(編著) 震災とインターネット Raphael, B. 1986 When disaster strikes: how individuals and communities cope with catastrophe. New York: Basic Books. (ビヴァリー・ラファエル, 石丸 正(訳) 1989 災害の襲うとき: カタストロフィの精神医学 みすず書房)
- 西道実・秋山学・浦光博・清水裕・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(5)ー避難所運営における連携組織の移行についてー 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 318-319.
- 清水裕・秋山学・浦光博・西道実・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(4)ー避難所縮小に伴う避難所運営の変化の検討ー 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 316-317.
- 清水裕・水田恵三・秋山学・浦光博・竹村和久・西川正之・松井豊・宮戸美樹 1997 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究 社会心理学研究, 13(1), 1-12.
- 神藤貴昭・野上奈生・住友育世・齊藤誠一・佐藤眞子・吉田圭吾・柳原利佳子・山本智一・森田英夫・寺村忠司・坂口喜啓・田中孝尚・舛井律子・松田信樹・山口昌澄・二宮奈津子・宅 香菜子 1997 阪神・淡路大震災の心理的影響に関する研究 神戸大学発達科学部研究紀要, 4, 245-259.
- 白澤政和 1995 住宅災害と高齢者の生活問題 1995年度日本建築学会大会研究協議会資料「大震災における住宅被害の構造と復興の課題」 日本建築学会 Pp. 31-41.
- 消防庁(編) 1996 阪神・淡路大震災の記録 第2巻 ぎょうせい
- 総合研究開発機構 1995 大都市直下型震災時における被災地域住民行動実態調査(NIRA研究報告書No. 950067) 総合研究開発機構
- 菅波 茂 1995 とび出せ! AMDA: AMDAーアジア医師連絡協議会の活動ー 厚生科学研究所
- 杉万俊夫・渥美公秀・永田素彦・渡邊としえ 1995 阪神大震災における避難所の組織化プロセス 実験社会心理学研究, 35, 207-217.
- 杉浦淳吉・松浦 均 1996 名古屋からボランティアに行った人々(3)ー組織からの要請と対人ネットワークー 日本グループ・ダイナミクス学会第44回大会発表論文集, 184-185.
- 掃部恵美 1997 仮設住宅におけるコミュニケーション・ネットワークの機能 家族療法研究, 14(1), 35-36.
- 総合研究開発機構 1995 大都市直下型震災時における被災地域住民行動実態調査(NIRA研究報告書No. 950067) 総合研究開発機構
- 高木 修・福岡欣治 1996 阪神・淡路大震災における被災者をとりまく援助ネットワークー親戚・知人の役割を中心にしてー 関西大学社会学部紀要, 27(3), 57-106.
- 高木 修・田中 優 1995 阪神大震災における避難者と援助活動ー避難生活における問題とそれへの対処方法ー 関西大学社会学部紀要, 27(1), 33-57.
- 高木 修 1983 順社会的行動の動機の構造 年報社会心理学, 24, 187-207.
- 高木 修・玉木和歌子 1995 阪神・淡路大震災におけるボランティアー避難所で活動したボランティアの特徴ー 関西大学社会学部紀要, 27(2), 29-60.
- 高木 修・玉木和歌子 1996 阪神・淡路大震災におけるボランティアー災害ボランティアの活動とその経験の影響ー 関西大学社会学部紀要, 28(1), 1-62.
- 高梨成子・吉井博明 1995 阪神・淡路大震災におけるボランティアの活動と今後の課題 総合都市研究, 57, 125-140.
- 高寄昇三 1996 阪神大震災と自治体の対応 Pp. 69. 学陽書房
- 田村雅幸・渡邊和美 1995 阪神・淡路大震災における被災者の行動と警察の災害対策 1. 被災実態と被災時の行動 科学警察研究所報・防犯少年編, 36, 73-88.
- 田中優・秋山学・浦光博・西道実・清水裕・竹村和久・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(6)ー避難所を運営したリーダーの特徴についてー 日本グループ・ダイナミクス学会第44回大会発表論文集, 54-55.
- 田中優 1998 仮設住宅の運営 松井豊・水田恵三・西川正之(編著) あのとき避難所は 阪神・淡路大震災のリーダーたち プレイン出版
- 田中優・高木修 1997 阪神・淡路大震災による遠隔地仮設住宅における被災者の研究(1)ー地震から1年後の被災者の身体的・精神的健康状態ー 実験社会心理学研究, 37(1), 76-84.
- 辻内琢也・吉内一浩・嶋田洋徳・伊藤克人・赤林 朗・熊野宏昭・野村 忍・久保木富房・坂野雄二・末松弘行 1996 阪神・淡路大震災における心身医学的諸問題(II)ー身体的ストレス反応を中心としてー 心身医学, 36, 657-665.
- 堤 智也・山崎智行・大月一弘 1996 神戸大学での情報ボランティア活動 田中克巳(編著) 震災とインターネット: 神戸からの提言 NECクリエイティブ Pp. 137-154.
- 矢守克也 1997 阪神大震災における避難所運営ーその段階的変容プロセスー 実験社会心理学研究, 37(2), 119-137.
- 八尾志紀仮設住宅自治会 1995 八尾志紀仮設住宅自治会アンケート集計結果 同所発行

- 八ッ塚一郎 1996 阪神大震災における小規模創発的ボランティア団体に関する研究 日本グループ・ダイナミックス学会第44回大会発表論文集, 62-63.
- 山賀邦子 1996 災害被災地の看護者の心身疲労度とその後方支援 日本心理臨床学会第16回大会発表論文集, 118-119.
- 読売新聞大阪本社 1995 阪神大震災 Pp.127. 読売新聞社
- 読売新聞 1995 「阪神・淡路大震災から半年 進まぬ仮設住宅入居」 7月28日付読売新聞大阪本社版朝刊

第3章

- 青井和夫 小集団の構造と機能 1962 青井和夫・綿貫譲治・大橋幸 集団・組織・リーダーシップ 今日の社会心理学 3 1-190.
- 渥美公秀 これからの災害救援ー被災者・救援者の集合性に基づいた集合性再構築支援 1996 城仁士・杉万俊夫・渥美公秀・小花和尚子 心理学者がみた阪神大震災ー心のケアとボランティア ナカニシヤ出版
- 尼崎市・財団法人あまがさき未来協会 1996 大規模災害時における避難所のあり方に関する研究報告書ー阪神・淡路大震災から学び今後に備えるために～
- 藤芳誠一 経営組織におけるプロジェクトチームのあり方 1977 企業と組織 現代のエスプリ124 132-139.
- 松井豊・浦光博・西道実・清水裕・田中優・西川正之・福岡欣治・水田恵三 1997 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(8)ー広域災害時の緊急避難組織の運営に関する提言ー 日本社会心理学会第38回大会発表論文集, 346-347.
- 西宮ボランティアネットワーク(編) 1995 ボランティアはいかに活動したか 震災60日もう一つの阪神大震災記録 日本放送協会
- 野田隆 1997 災害と社会システム 恒星社厚生閣
- 西道実・秋山学・浦光博・清水裕・竹村和久・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(5)ー避難所運営における連携組織の移行についてー 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 318-319.
- 清水裕・水田恵三・秋山学・浦光博・竹村和久・西川正之・松井豊・宮戸美樹 1997 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究 社会心理学研究, 13(1), 1-12.
- 清水裕・西道実・田中優・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三 1998 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(9)ーボランティア団体の視点から見た避難所運営ー 日本社会心理学会第39回大会発表論文集, 336-337.
- 田中優・秋山学・浦光博・西道実・清水裕・竹村和久・西川正之・福岡欣治・松井豊・水田恵三・宮戸美樹 1996 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(6)ー避難所を運営したリーダーの特徴についてー 日本グループ・ダイナミックス学会第44回大会発表論文集, 54-55.
- 矢守克也 1997 阪神大震災における避難所運営ーその段階的変容プロセスー 実験社会心理学研究, 37(2), 119-137.

終章

- 廣井脩 1995 新版災害と日本人 巨大地震の社会心理 時事通信社
- 被災社会心理学者・連 1998 きずな 地震の傷抱き六甲山眠る ナカニシヤ出版
- 井上文夫ほか 1991 よくわかる社会調査の実践 ミネルヴァ書房
- 松井豊 1998 避難所リーダーのためのマニュアル 松井豊・水田恵三・西川正之(編) あのとき避難所は プレイン出版, 169-182.
- 松井豊・西道実・清水裕・田中優・西川正之・福岡欣治・水田恵三 1998 阪神・淡路大震災の避難所リーダーの研究(10) 広域災害時のフィールド調査の留意点 日本社会心理学会第39回大会発表論文集, 274-275.
- 水田恵三 1998 災害研究のあり方 松井豊・水田恵三・西川正之(編) あのとき避難所は プレイン出版, 183-199.
- 東京大学新聞研究所「災害と情報」研究班 1984 「1982年7月長崎水害」における住民の対応
- Williamas, C.L., Solomon, S.D., & Bartone, P. 1988 Primary prevention in aircraft disasters - Integrating reseach and practice. American Psychologist 43(9), 730-739.